

第一礼拝次第

+

説教：渡真利彦文牧師
司会：倉成桃子執事



< 卷頭言 >

「沖縄バプテスト連盟略史②」
牧師 渡真利彦文

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		〃	
プレイズ	「恵み again」 「目を上げよ」	〃	
聖書朗読	マタイ 16:17-19	司会	
祈禱	(新約聖書 p 32)		
賛美	529	会衆	
説教	「あなたはペテロ」	牧師	
祈禱			
賛美	新生 363	会衆	
聖餐式			
献金			
報告		司会	
頌栄	新生 672b	会衆	
祝禱		牧師	



第二礼拝次第 (19:00)

説教：渡真利彦文牧師

聖書：創世記 1:1-5

(旧約聖書 p 1)

メッセージ：「はじめに神は」

プレイズ：「主の教えを喜びとし」

「いのちの光」

賛美：新生 6 新生 59



ファミリー礼拝 (9:00)

説教：渡真利彦文牧師

聖書：エゼキエル 1:1-21

メッセージ：「ケバル川のほとりで見た」

<1953年沖縄キリスト教連盟からバプテスト派の離脱> 沖縄キリスト教連盟の単一教会法人化の作業が進められる中、教会観の相違から多くの反対を押し、照屋寛範、伊波盛次郎の両師は離脱を決意し、バプテスト派としての再出発となる。しかし、離脱は直ちに経済的な困難をもたらすものであった。半年後、思いがけないところから援助の手が延ばされてきた。それは関東学院の幼稚園から大学までの全生徒の10円献金がなされ、3年も続けられたことである。

<1954年3月那覇バプテスト教会の復興> 1944年十・十空襲で那覇市が灰塵に帰した後、区画整理された教会跡地に仮会堂兼牧師館が建築され、那覇市での伝道が再開され、那覇バプテスト教会は復興されることとなった。

<1955年1月沖縄バプテスト連盟の結成> アメリカンバプテストの宣教師ボーリングヤー師と関東学院を卒業されたばかりの山路一師が、沖縄伝道のため赴任され、本格的なバプテスト教会としての伝道が展開され「沖縄バプテスト連盟」が結成されるに至った。同年12月には日本バプテスト連盟から調正路師一家が加わり、各地に伝道の拠点が形成された。沖縄におけるバプテストの働きは、アメリカンバプテストと日本同盟の共同の努力によって始められ、戦前戦後の教会形成がなされ、1955年以降、日本バプテスト連盟の支援、また米国・南部バプテスト連盟の協力もあり、今日多くの教会・伝道所が生み出された。(続く)